

1 次世代足場

1-1 ファステック…………… 20

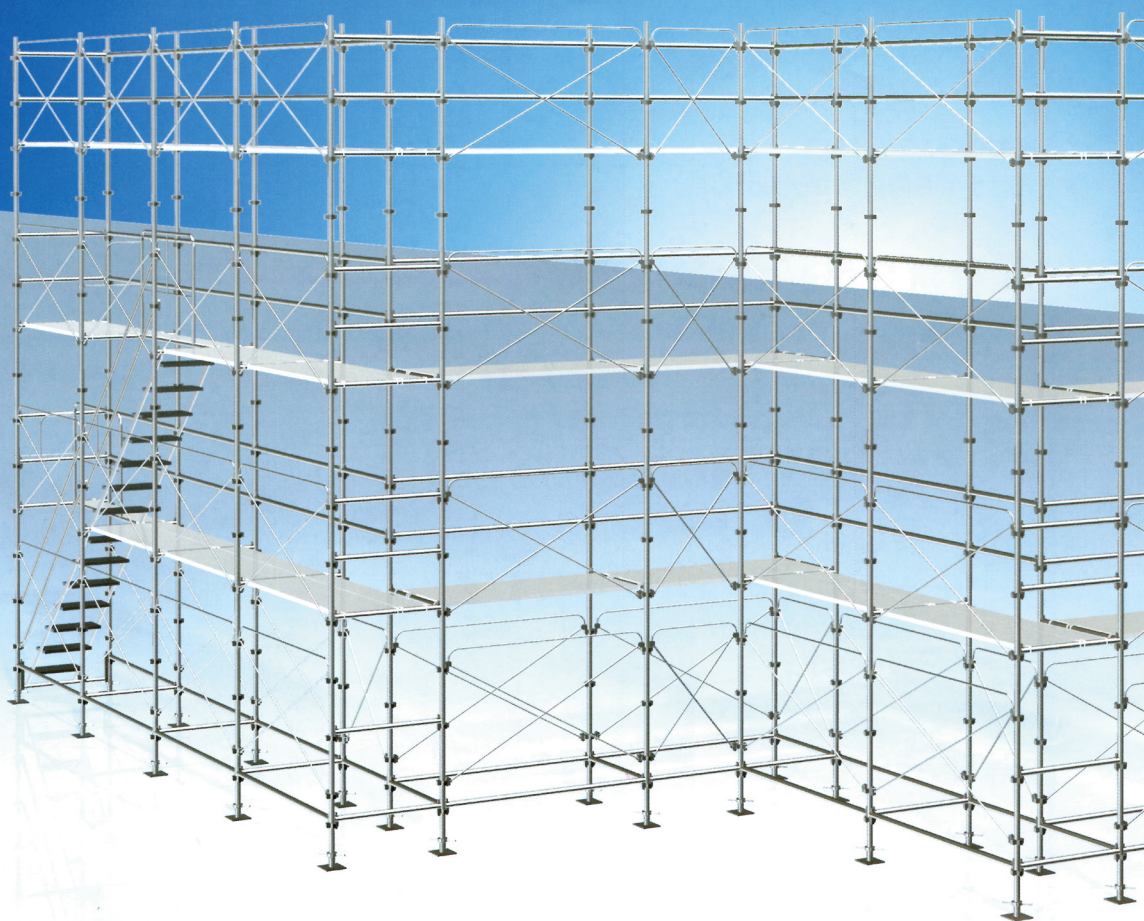
次世代足場

ファステック

仮設工業会足場承認取得 承認 第63号

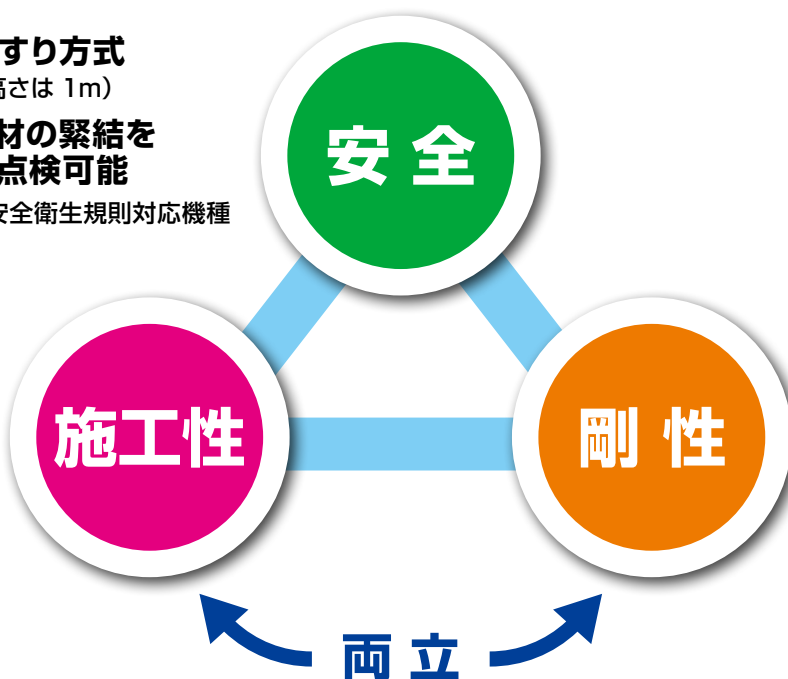
仮設工業会支保工承認取得 承認 第90号

国土交通省新技術情報システム「NETIS」登録製品
登録番号 KT-130098-A



ファステックは安全な上に、 施工性と剛性を両立させた足場です。

- 先行手すり方式
(手すり高さは 1m)
- 手すり材の緊結を
目視で点検可能
➡ 改正安全衛生規則対応機種

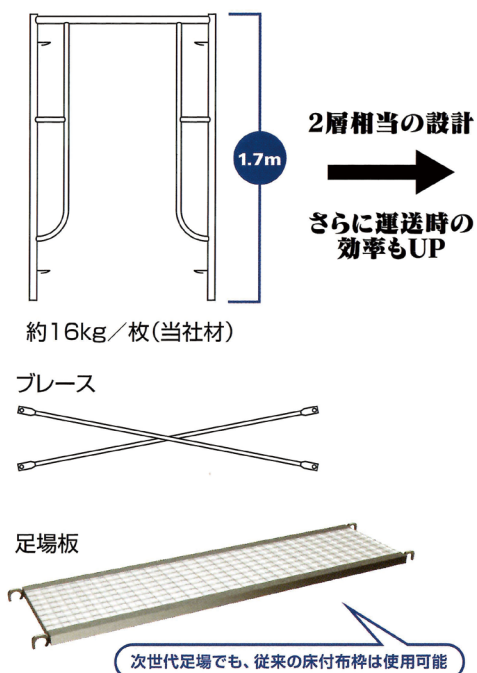


- 布材の3ステップ施工
- 先行手すりの自動セット方式

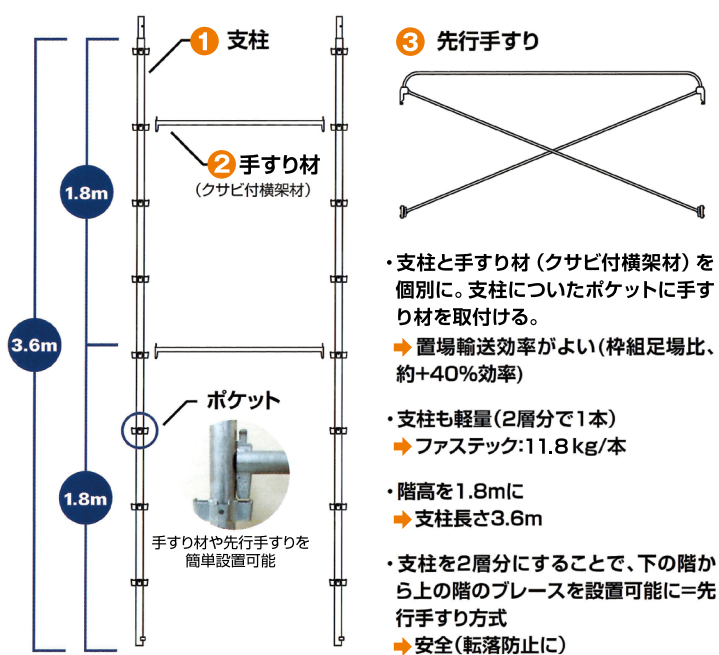
- 53m まで単管補強なしで組立可能
- 型枠支保工への転用可能
システム支保工 (48.6タイプ) 相当

枠組足場から次世代足場へ

枠組足場



次世代足場(ファステック)



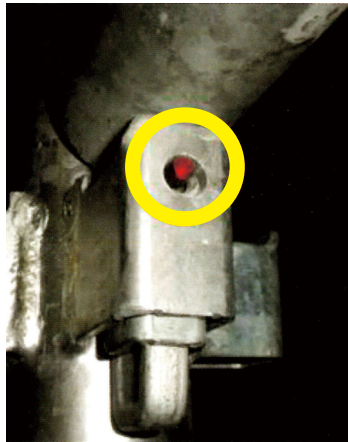
安全

先行手すり方式



手すり高さが長身の方でも安心の1m

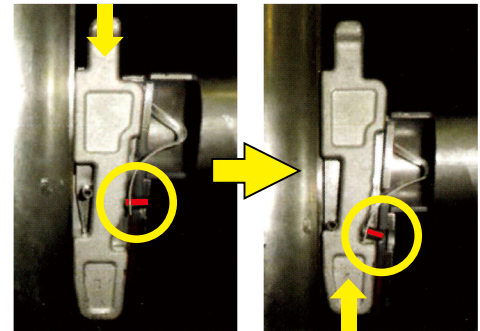
布材の緊結を目視で点検可能



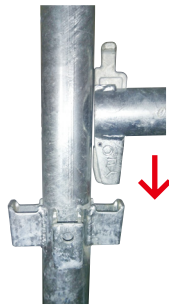
改正安全衛生規則（足場の組立後、発注者も点検が必要に）→ ファステックは法改正に対応した機種

〈ロック時〉

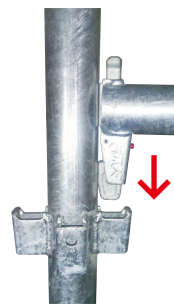
〈アンロック時〉



- ・クサビを打ち込むことで、クサビロックピン（赤色）がせり出し固定が完了。下からクサビを打つことでクサビロックピンが引っ込む。
- ・パネはステンレス製
- ・クサビは解体修理も可能



クサビが上がっている状態で上からポケットに差し込みます。



クサビが下がっている状態で上からポケットに差し込まないで下さい。

ファステックは、職人さんの安全を守る足場です。

剛性

53mまで単管補強なしで組立可能※



53mの施工実績写真

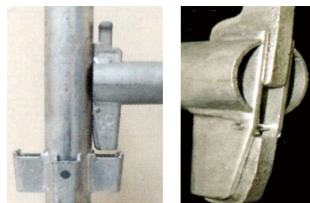
→ 中高層のビルの高さは31mと45mが多い
※施工現場によって補強なしの高さは異なります

型枠支保工への転用可能



システム支保工(48.6タイプ)相当
→ 保有機材が少なく済みます

施工性と剛性を両立した秘密は？



- ①ポケット方式
クサビのケースがしっかりとポケットに
- ②クサビの先端が面で支柱に接触&支柱を押し
- ③支柱にハイテン700鋼を使用
許容支持力が強く(13.0kN/本)かつ、軽量(11.8kg/本)

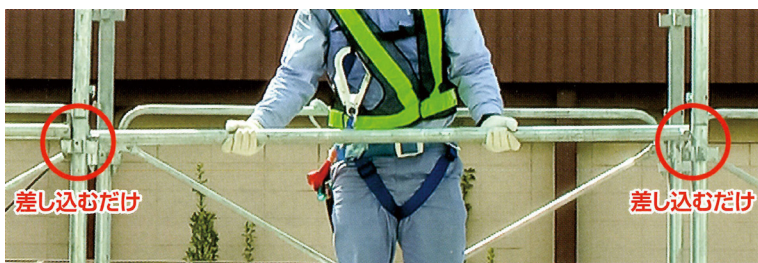
ファステックは、施工性と剛性を両立させた足場です。

施工性

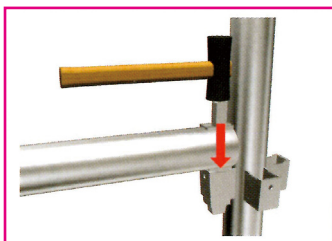
〈手すり材〉 3ステップ施工

■ 手すり材の3ステップ施工

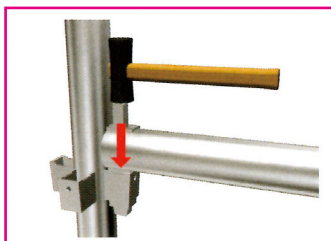
① 手すり材のクサビ部分を支柱ポケットに合わせて置く



② 右止め



③ 左止め



組立後の一部解体も自由自在



➡ 荷受台設置、歩行用などに

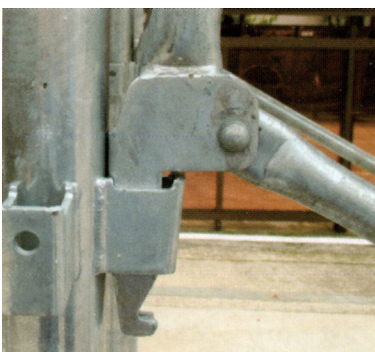
ファステックは
組立時：上→下、解体時：下→上

- ➡ 前後への体重移動なし
- ➡ 高所での安心感が違うと職人さんに好評

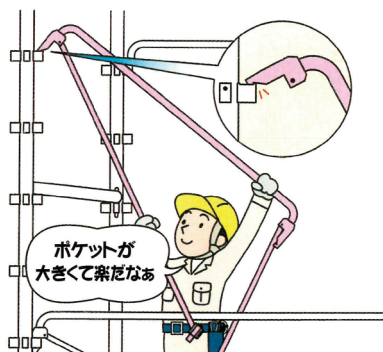
一番多い1829mmの布材でも3ステップ施工

〈先行手すり〉 自動セット方式

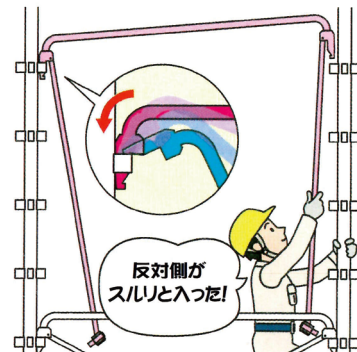
■ 上部金具がストレートで長い



■ 先行手すりの自動セット方式



① ブレースと手すりを持ち上げて、上部を支柱ポケットに引っ掛けます。



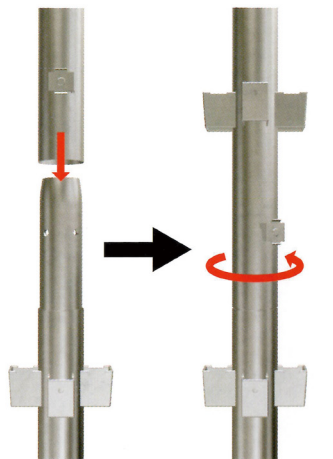
② もう一方の金具を支柱ポケットに取り付けます。

先行手すり方式で職人さんがお困りの点

- ① 高い所にある穴にセットしにくい
 - ② 左をセットし、右をセットしようとしたら、左が外れることがある
- ➡ ファステックなら、先行手すりの自動セット方式

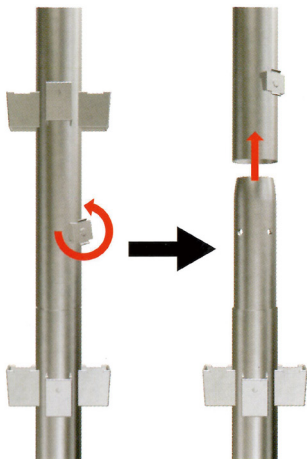
〈支柱〉 自動ロック方式

■ 支柱の組立



挿入 → 回転で自動ロック

■ 支柱の解体



金具をひねる → 引き抜く

- 支柱は、差し込んで、回転させるだけ（自動ロック方式）
- ロック金具をひねればロック解除。上に引けば、抜けます。
- 円形ホゾに4つの穴
 - 支柱の向きを気にせず組立可能
 - 大組でのやり直し撲滅
- 支柱にハイテン700鋼を使用
 - 許容支持力が高く(13.0kN/本)、軽量(11.8kg/本)

ファステックは、施工性抜群の足場です。

ファステックの特長

■ 足場は、高所で膨大な作業が必要

〈3,000㎡の物件の場合〉

部材	手すり材	先行手すり	支柱
施工に必要な部材数	約3,000本	約1,050本	約900本

ファステックなら

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 手すり材の3ステップ施工 ② 機材の左右/前後/向きのチェックも不要 ③ 余分な単管補強/強化方杖も不要 | <ul style="list-style-type: none"> ④ 支柱も軽量 ⑤ 揺れも少ない |
|--|---|

高所で作業する職人さんのストレスが少ない足場です。

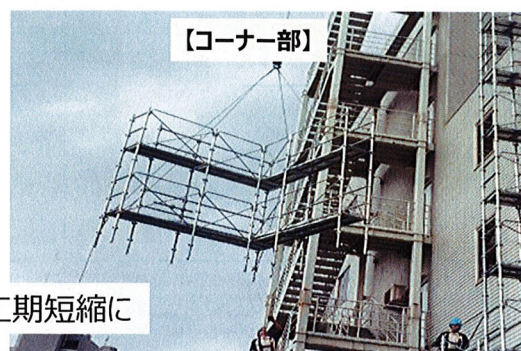
大組み・大払しも可能

大組が特別な治具なしで可能

←剛性が高い

- ① 補強一切不要 (ポケットに引っ掛けるだけ) (←足場システムとして剛性が高い)
- ② 階上での据え付けもスムーズ

⇒ 地面での組立2人 最上階での設置2人 クレーン運転1人
標準的には計5人作業



■ 施工例

外部足場



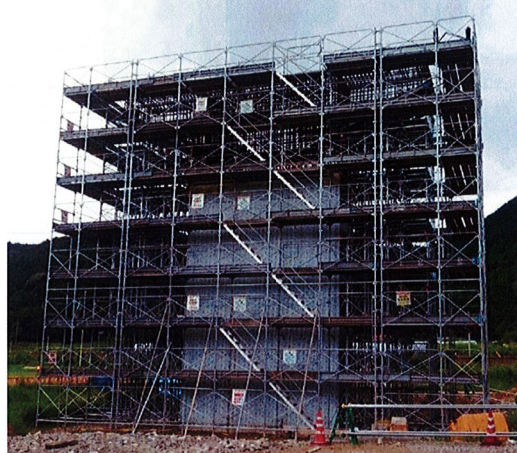
支保工



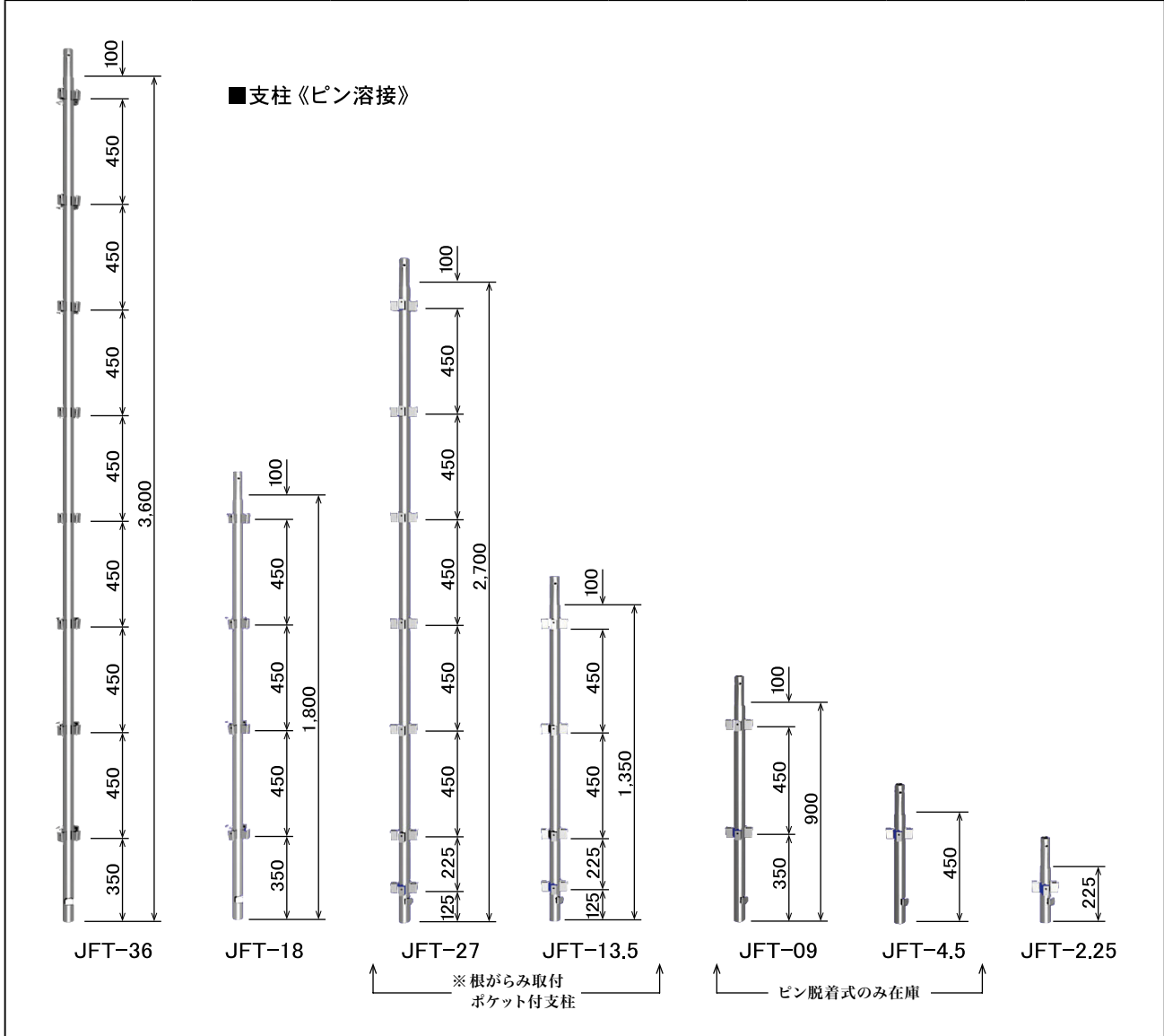
ファステックにて組立使用した作業ステージ



橋脚下部工事の型枠支保工及び外部足場



品名	48.6 支柱						
品番	JFT-36	JFT-27	JFT-18	JFT-13.5	JFT-09	JFT-4.5	JFT-2.25
重量(kg)	11.8	9.3	6.1	5.0	3.3	1.9	1.3

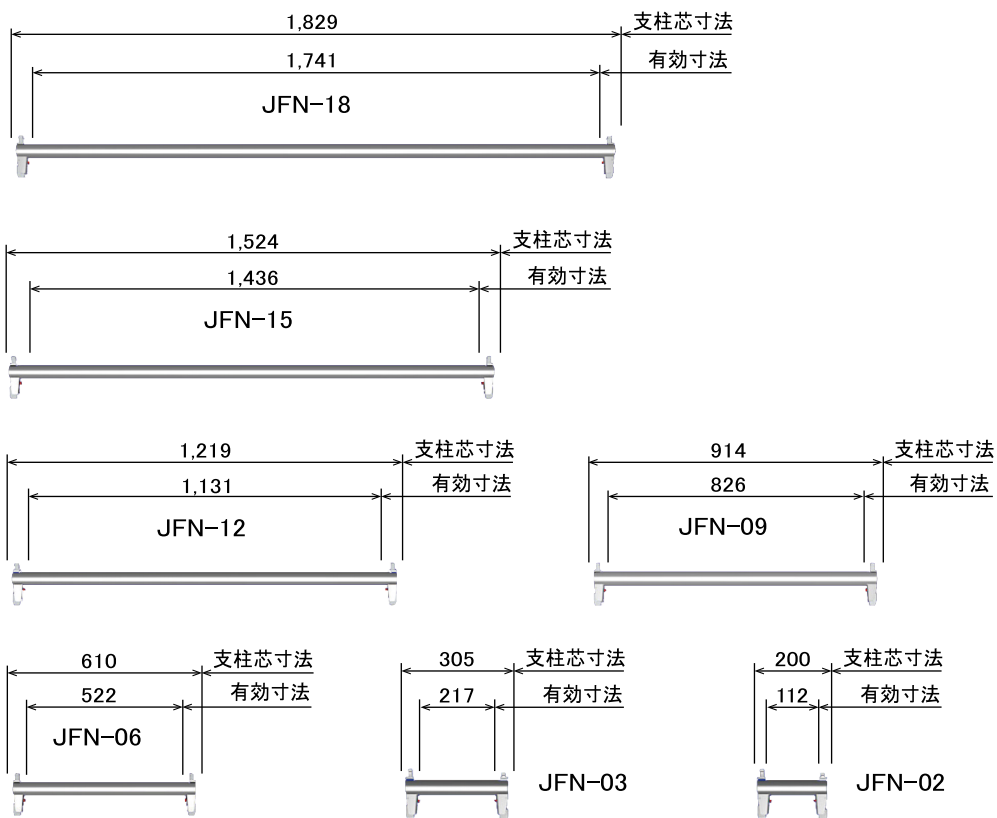


品名	48.6 支柱ピン脱着式		品名	ピン	品名	カラー材	
品番	JFT-09HV	JFT-4.5HV	品番	JFT-PIN	品番	SH-225	SH-120
重量(kg)	3.3	1.9	重量(kg)	0.5	重量(kg)	0.6	0.3
<p>■支柱《ピン脱着式》(ピン・Vピンセット品)</p> <p>JFT-09HV JFT-4.5HV</p>			<p>■ピン ■Vピン</p> <p>JFT-HOZO-Z V-PIN(F)</p>		<p>■カラー材</p> <p>大引受ジャッキを差し込む最上部は必ずカラー材を使用して下さい。</p> <p>SH-225 SH-120</p>		

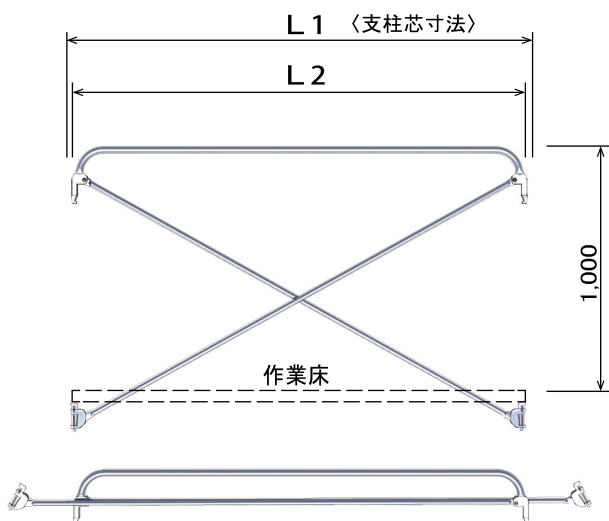
1-1 ファステック

品名	手すり材						
品番	JFN-18	JFN-15	JFN-12	JFN-09	JFN-06	JFN-03	JFN-02
スパン(mm)	1829	1524	1219	914	610	305	200
重量(kg)	5.0	4.3	3.5	2.7	2.0	1.2	0.9

■手すり材



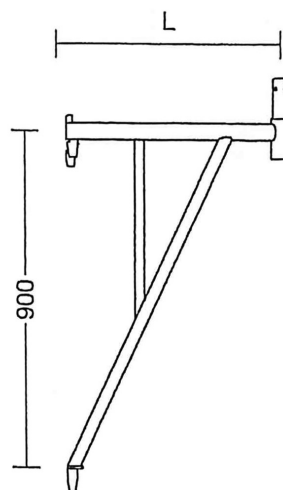
品名	先行手すり		
品番	L1 (mm)	L2 (mm)	重量(kg)
JFX-18	1829	1775	6.8
JFX-15	1524	1470	5.9
JFX-12	1219	1165	5.1
JFX-09	914	860	4.3
JFX-06	610	556	3.6



品名	拡幅用ブラケット	
品番	JHBK-6	JHBK-3
L寸法(mm)	610	304
重量(kg)	5.2	4.4

最上段のみ使用

■拡幅用ブラケット



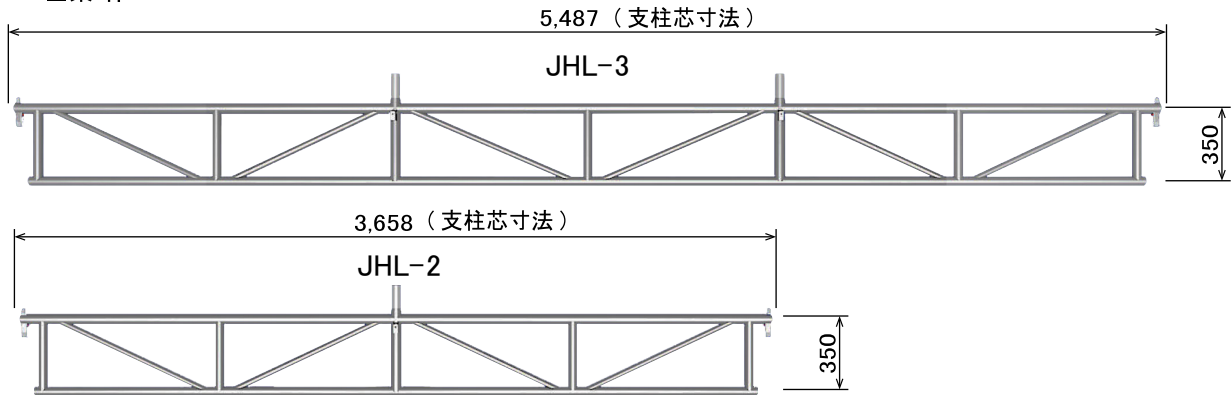
1-1

ファステック

1
次世代足場

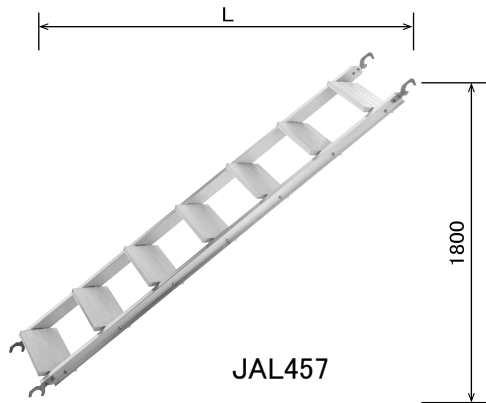
品名	梁 枠	
品番	JHL-3	JHL-2
スパン	3	2
重量(kg)	35.5	23.9

■梁 枠



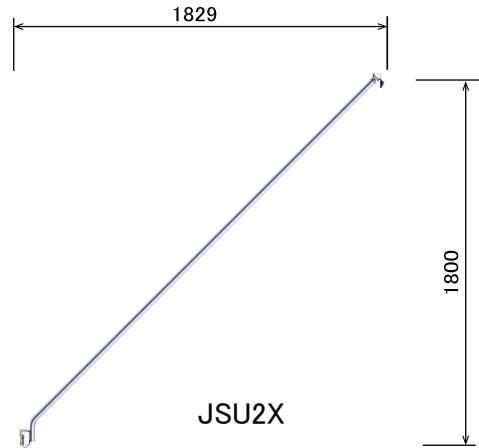
品名	アルミ階段	
品番	L (mm)	重量(kg)
JAL457	1829	12.4

■アルミ階段



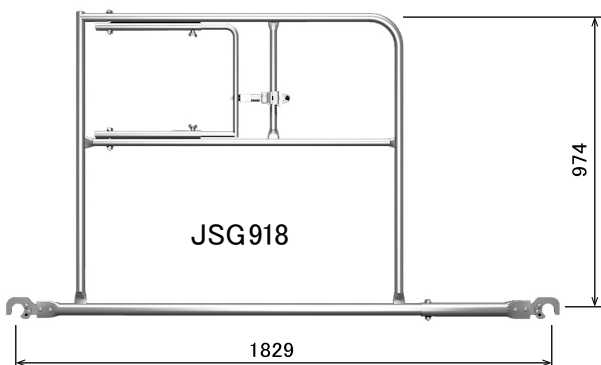
品名	階段斜め手すり18
品番	JSU2X
重量(kg)	5.0

■階段斜め手すり



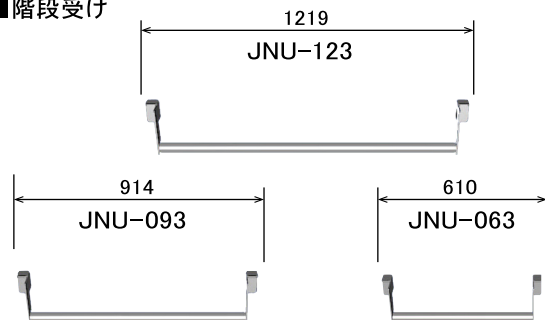
品名	階段開口部手すり枠
品番	JSG918
重量(kg)	13.4

■階段開口部手すり枠



品名	階段受け	
品番	使用幅	重量(kg)
JNU-123	1219	4.0
JNU-093	914	3.6
JNU-063	610	2.9

■階段受け



1-1 ファステック

品名	ブラケット	
品番	JBKN-04	
重量(kg)	2.1	

■ブラケット

JBKN-04

品名	強化方杖	
品番	JKH-2545	
重量(kg)	1.7	

■強化方杖

品名	張出ブラケット	
品番	JBKP-06	JBKP-04
重量(kg)	3.3	2.6

■張出ブラケット

JBKP-06

JBKP-04

品名	伸縮ブラケット		
品番	JSBK-1000	JSBK-750	JSBK-500
重量(kg)	5.1	3.7	2.6

※注文時に先端クランプの有無をお申し付け下さい。

■伸縮ブラケット

JSBK-1000

JSBK-750

JSBK-500

〈ファステックご使用基準〉

- ◆ 高さ制限については、強度計算書に従って下さい。
- ◆ 壁つなぎは、2層3スパン以内ごとに設置して下さい。
- ◆ 積載荷重：最大積載荷重は、次表に示された値以下、かつ、同時積載は2層までとして下さい。

1層1スパンあたり	同一層連続スパン載荷	250kg
	同一層連続スパン以外の載荷	400kg

※開口部上方の足場の全積載荷重は800kg以下として下さい

ファステック用養生クランプ

養生枠、防音パネルを取付けるための専用養生クランプです。

緊結部に干渉する箇所【Aタイプ】

直線
部用

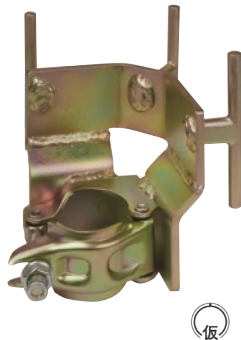


JOSK-A1

養生クランプ板付
プレート付き直線部

緊結部（支柱のポケット、フランジ）に干渉する直線部に使用します。

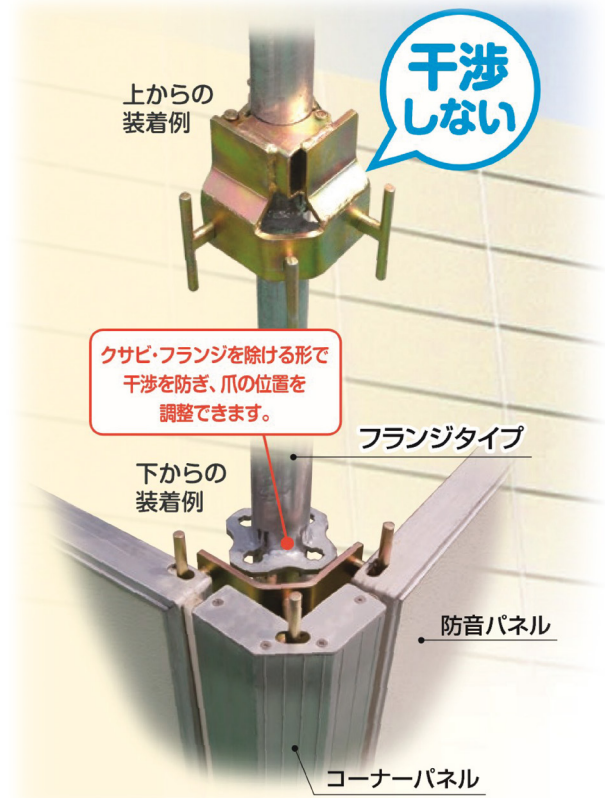
コーナー
部用三爪



JOSK-A3

三爪クランプ板付
プレート付きコーナー3爪

緊結部（支柱のポケット、フランジ）に干渉するコーナー部に使用します。



上記以外の干渉しない箇所【Cタイプ】

直線
部用



JOSK-C1

養生クランプロング
プレート無し直線部

干渉しない直線部に使用します。

コーナー
部用三爪



JOSK-C3

三爪クランプロング
プレート無しコーナー3爪

干渉しないコーナー部でコーナーパネル使用時に使用します。



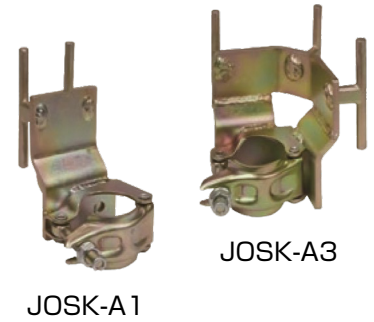
…仮設工業会認定品

1-1 ファステック

■仕様・寸法図

ファステック用養生クランプ				
	品番	品名	用途	重量(kg)
①	JOSK-A1	養生クランプ 板付	干渉部有 養生クランプ (直線部用)	1.0
②	JOSK-A3	三爪クランプ 板付	干渉部有 三爪養生クランプ (コーナー部用)	1.5
③	JOSK-C1	養生クランプ ロング	干渉部無 養生クランプ (直線部用)	0.5
④	JOSK-C3	三爪クランプ ロング	干渉部無 三爪養生クランプ (コーナー部用)	0.6

<p>① JOSK-A1</p>	<p>② JOSK-A3</p>
<p>③ JOSK-C1</p>	<p>④ JOSK-C3</p>

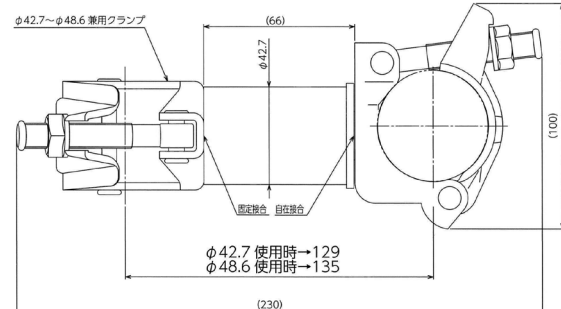
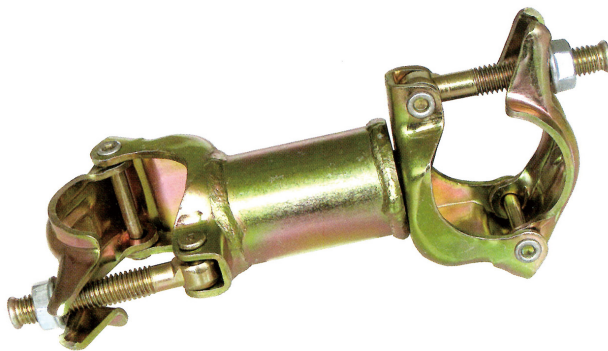


【使用上のご注意】

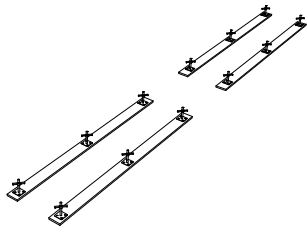
- 必ず指定された締め付けトルクで締め付けて下さい。(3.43～4.41kN)
- 強風等の悪天候や強い地震、取付け周辺部に強い衝撃が与えられた後は、点検を行ってください。
- 変形、破損、腐食等異常を発見した場合は、交換してください。
- 防音パネルを取付ける際は、フックの奥までかけて下さい。パネルの脱落やクランプが破損する恐れがあります。
- 高所から投げ落とさないで下さい。事故や破損に繋がります。
- フックのねじれ方向に荷重をかけないで下さい。
- 最上部のクランプは、下向きにしてパネルを取り付けて下さい。

品名	ツナギクランプ
品番	CL66-0S
重量(kg)	0.9

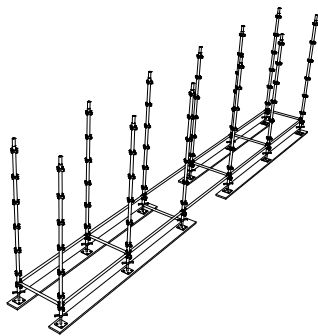
ファステックの
組み合わせに最適。



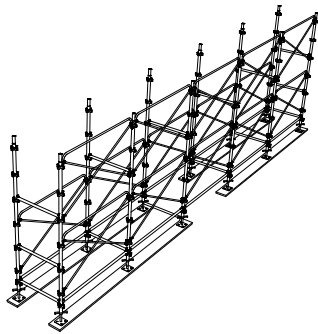
組立手順



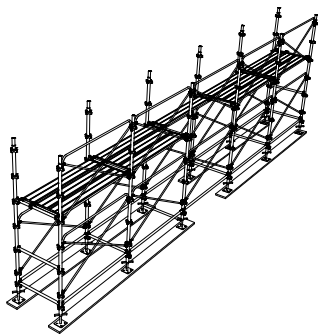
- 1) 足場の脚部
 - 仮設計画図に基づき、敷板(敷盤)の上にジャッキベースを所定の位置に設置する。
 - 注) 足場の脚部は不等沈下しない堅固なものの上に設ける。



- 2) 支柱／根がらみの取付
 - 1段目の支柱 JFT-27 (2700mm)の支柱をジャッキベースに差し込みます。
 - 設置場所に傾斜が有る場合は支柱 JFT- 2.25 (225mm) JFT- 4.5 (450mm)などで高さを調整します。
 - 支柱が倒れないよう支えながら、最下段のポケットに布材をセットします。
※布材をセットするときには、クサビが上に上がり、ロックピンが奥にあることを確認してください。
クサビが下がり、ロックピンが出ていると布材が浮き正確にポケットにセットできません。

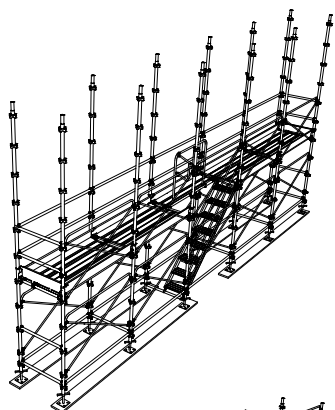


- 3) レベル出しと固定
 - レベル器等を使用し、ジャッキベースの調整により水平を出します。
 - 水平設定後、ハンマーにてクサビを打ち込み、固定します。
 - クサビを打ち込むと、ポケットの穴にロックピンが出ます。
 - ロックピンが出るまで打ち込んでください。

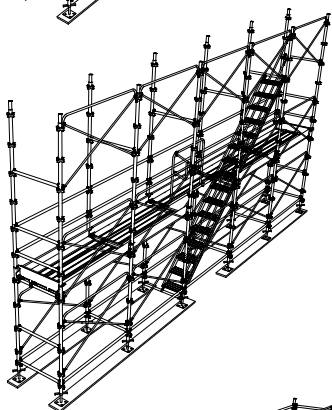


- 4) 布材(ころばし)の取り付け
 - 上部床用に足場の幅方向に布材(ころばし)を取り付けます。取り付け位置は下から5段目のポケットです。
※布材をセットするときには、クサビが上に上がり、ロックピンが奥にあることを確認してください。
 - セット後、クサビをハンマーで打ち込みます。
 - ポケットの穴からロックピンが出ていることを確認します。

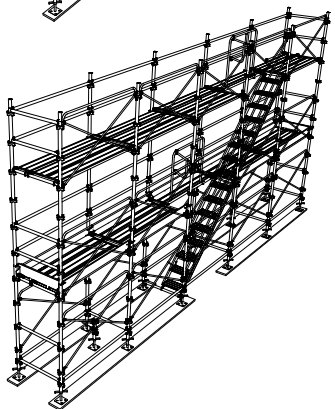
- 5) 先行手摺の取付
 - 足場の前踏み / 後踏み側に3段目のポケットより先行手摺を取り付ける。
 - 2段目の後踏み側に先行手摺を取り付ける。
 - 支柱(JFT- 27)の最上部のポケットに先行手すり (JFX- 183 N)を取り付けます。
 - 上金具の片側をポケットに預けます。
 - 反対側の上金具を持ち上げポケットに差し込みます。
 - 反対側を持ち上げると先に預けた金具がポケットに自然に入ります。



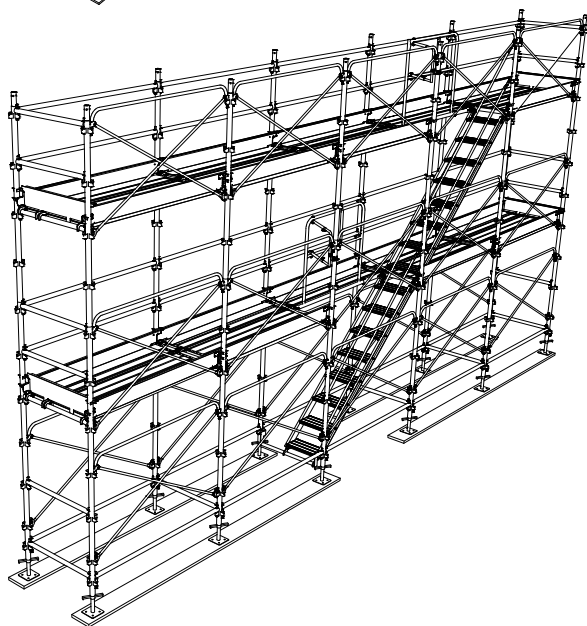
- 6) 板付布枠の取付
- ・作業床(床付布枠)を取り付けます。
- 注)床材間の隙間は3cm以下とする。
つかみ金具は確実にロックする。
作業床は垂直方向2m以下とする。



- 7) 2層目の組立
- ・階段枠を腕木材に掛け、2層目の上に行って階段手すりと階段開口手すり枠を取り付ける。
 - ・前踏み側と妻側に2段手摺を取り付ける。
 - ・板付布枠上に幅木を設置して下さい。



- 8) 3層目以降の組立
- 上部支柱の取り付け
- ・下段支柱(JFT-27)のジョイント部に上段支柱(JFT-36)を差し込みます。
 - ・ロック金具が「カチッ」と音がし、ロックするまで支柱を回転させます。
 - ・必ず、ロックを確認してください。
- 以降4)から7)を繰り返し行って下さい。



その他

壁つなぎの取付

注)垂直方向5.0m以下、水平方向5.5m以下とする。

梁枠を用いて開口部を設ける場合

- ・板付布枠をセットしたポケットの一段下のポケットに梁枠をセットしてください。
- この場合梁枠上の支柱には通常 JFT-13.5を使用します。

ファステック足場点検表

検査日時： 年 月 日 () am/pm : ~ :
 元方事業者名： _____
 作業所／現場名： _____
 検査工区： _____
 点検者職氏名： _____ 印

収受者印

専用足場

仮設機材名：ファステック					
分類	点検項目		点検内容	判定	備考
基礎	基礎の状態	1	地盤面は安定した状態にあるか（目視による）	良 否	
	敷板、敷角	2	地面上に建てる場合、敷板、敷角を使用しているか	良 否	
基礎との固定状態	ジャッキベース類	3	ベースは敷板、敷角に正しく固定されているか	良 否	
		4	ジャッキベース類のレベルは正しいか	良 否	
支柱とジャッキベース	ジャッキベース	5	支柱は正しくジャッキベースに差し込まれているか	良 否	
		6	ジャッキハンドルと支柱下端の間に遊びはないか	良 否	
滑動防止	根がらみ	7	桁行方向に2スパン以上根がらみの無いスパンがないか	良 否	
		8	敷板にジャッキベースを釘止めしない場合： 根がらみは直角2方向に取り付けられているか	良 否	
		9	敷板にジャッキベースを釘止めする場合： 敷板と直角方向に根がらみが設けられているか	良 否	
		10	根がらみ用布材のクサビは正しく打ち込まれているか	良 否	クサビロックピン(赤色)目視確認
支柱の接続	抜け止め処置	11	支柱のロックピンが確実にロックされているか	良 否	
支柱の間隔	支柱	12	支柱の設置間隔は指定通りか	良 否	
作業床	床付き布枠	13	指定通りの幅の床付き布枠が設置されているか	良 否	
		14	つかみ金具の外れ止めはロックされているか	良 否	
		15	床材間の隙間は3cm以下か	良 否	
手すり材、ブラケット等	設置状態	16	クサビは正しく打ち込まれているか	良 否	クサビロックピン(赤色)目視確認
		17	手すり材等の設置位置は指定通りか	良 否	
先行手すり	設置状態	18	設置位置は指定通りか	良 否	
		19	取付部のクサビの緩みはないか	良 否	
		20	先行手すりを使用していない場合、大筋かいが取り付けられているか	良 否	
躯体との固定	壁つなぎ	21	垂直水平方向とも指定通りの間隔で設置されているか	良 否	
		22	躯体側、足場側ともに堅固な位置に正しく固定されているか	良 否	
昇降設備	階段等	23	安全に昇降できる昇降設備が設けられているか	良 否	
		24	階段手すり及び階段開口部手すりは設置されているか	良 否	
		25	踊り場は2層以下毎に設置されているか	良 否	
開口部	梁枠等	26	梁枠を用いた開口の高さは3層以下か	良 否	
		27	梁枠の外方1スパンには最下層から梁枠のレベルまで各層に先行手すりが設置されているか	良 否	
		28	梁枠を支持する支柱から外方に1スパン以上設置されているか	良 否	
		29	梁枠の両端支持部の支柱には壁つなぎが設けられているか	良 否	
		30	梁枠間の水平面に床付き布枠を設け水平構を形成しているか	良 否	
安全設備等	転落・墜落防護工	31	転落・墜落のおそれのある場所に、手すりや安全ネット等が設置されているか	良 否	
外観検査	垂直方向	32	支柱は垂直に組みあがっているか	良 否	
	水平方向	33	通りや水平は正しく出ているか	良 否	
	不良部材	34	著しい変形や破損のある不良部材を使用していないか	良 否	
最終確認	組立図	35	部品の組み忘れはないか	良 否	
		36	組立図通りに部材の配置、取付が行われているか	良 否	

注意) この点検は、今後の安全を保証するものではありません。